

Nomoadでのプレゼンテーション運用方法について

(Nomoad Version 2.00)

Nomoadではパソコン1台でプレゼンテーションの作成から表示まで行えますが、メモリーカードにデータファイルを書き出して表示用パソコンでプレゼンテーションを行ったり、ネットワーク（LAN）上の共有フォルダにデータファイルを置き、複数の表示用パソコンでプレゼンテーションを行うことができます。

また、通常版ソフトでは、マルチディスプレイ環境において、プレゼンテーション中に別の作業を行ったり、他のソフトウェアのウィンドウをプレゼンテーション画面に重ねて表示することもできます。

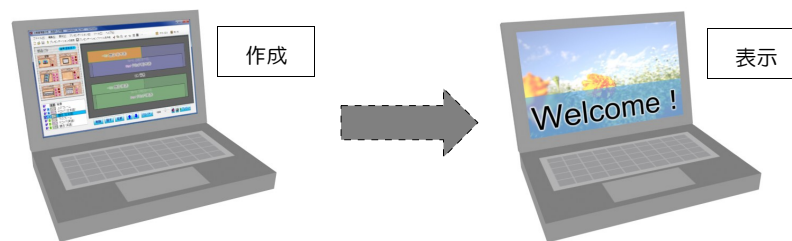
注意： ライト版では表示中のデータを更新することはできません。

目次

プレゼンテーションの作成と表示を1台のパソコンで行う場合.....	2
メモリーカードを介して表示用パソコンでプレゼンテーションを行う場合.....	2
ネットワーク（LAN）内での運用を行う場合.....	3
マルチディスプレイ環境での運用を行う場合.....	5
他のソフトウェア画面をプレゼンテーション画面に重ねて表示する.....	6

プレゼンテーションの作成と表示を1台のパソコンで行う場合

Nomoad ではプレゼンテーションの作成と表示を1台のパソコンで行うことができます。



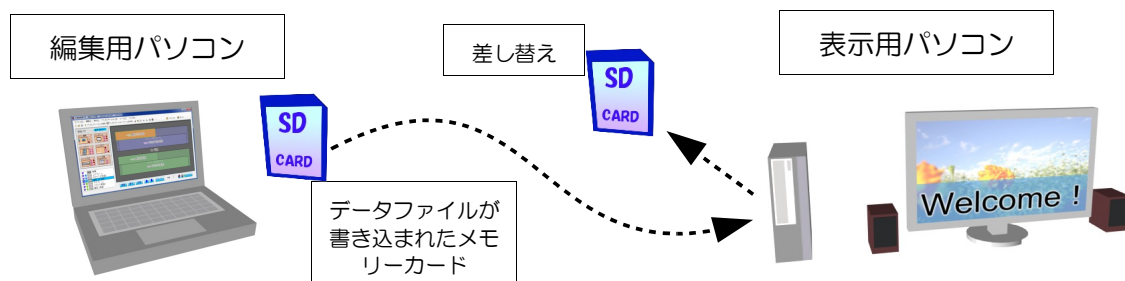
メモリーカードを介して表示用パソコンでプレゼンテーションを行う場合

メモリーカードにデータファイルを書き出して表示用パソコンでプレゼンテーションを行う場合の例です。パソコンにはメモリーカードリーダー等の機器が装備されている必要があります。

(ライト版では表示中のデータを更新することはできません。)

注意：編集用パソコン・表示用パソコンそれぞれに対してアプリケーションキーを購入する必要があります。

●例：メモリーカードを介してプレゼンテーションを行う場合



- ・表示用パソコンでは、パソコン起動時に自動的にプレゼンテーションを開始することができます。また、指定した時刻に自動的にパソコンをシャットダウンすることもできます。
- ・表示用パソコンでは、キーボードの1～9キーを押すことにより、複数のプレゼンテーションを切り替えることができます。(あらかじめキーにプレゼンテーションを割り当てる必要があります)
- ・メモリーカードを使用した場合、表示中でも表示用パソコンから抜き差しすることが可能です。編集用パソコンでメモリーカードへデータファイルを作成し、表示用パソコンで使用中のメモリーカードと差し替えることで、表示中のプレゼンテーションを更新することができます(ライト版では不可)。(メモリーカードではなくハードディスク等を使用した場合は故障の原因となりますので表示中の抜き差しは行わないでください)

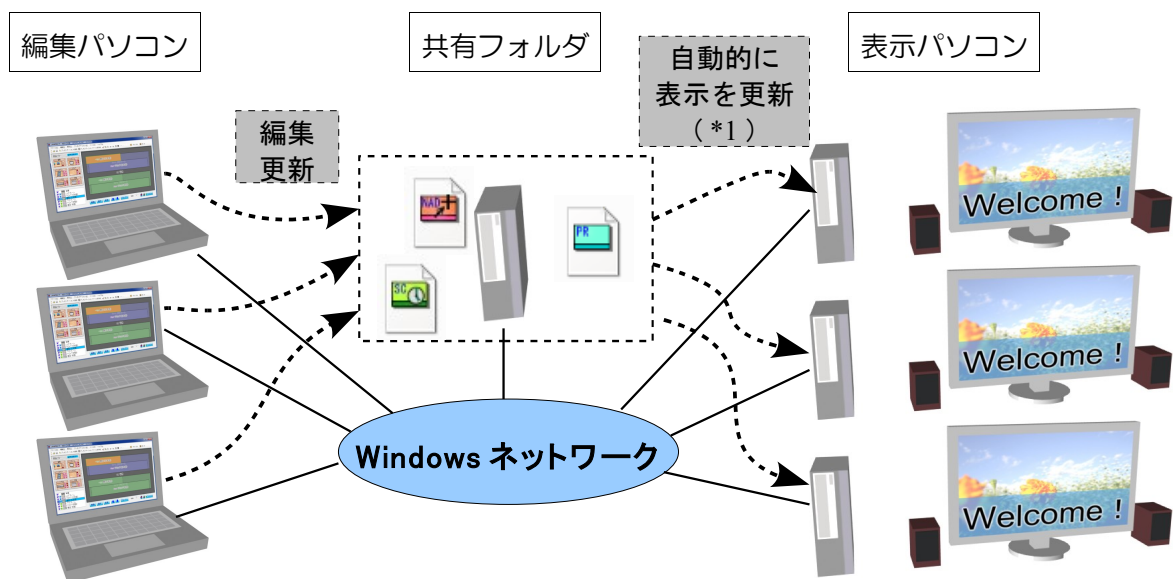
ネットワーク（LAN）内での運用を行う場合

Nomoad ではWindows ネットワーク上の共有フォルダにプレゼンテーションファイルやスケジュールファイル等のデータファイルを保存できます。

また、表示用パソコンの画面表示内容を随時更新することができます（ライト版では不可。詳しくはNomoad の取扱説明書をご覧ください。

（ライト版では表示中のデータを更新することはできません。）

注意：全ての編集用パソコン・表示用パソコンそれぞれに対してアプリケーションキーを購入する必要があります。



*1 ライト版では表示中のデータを更新できません。

※共有フォルダに同時に接続できるパソコンの数は共有フォルダの設定やサーバーの設定によります。同じプレゼンテーションを表示する表示用パソコンは5台以内とすることを推奨します。

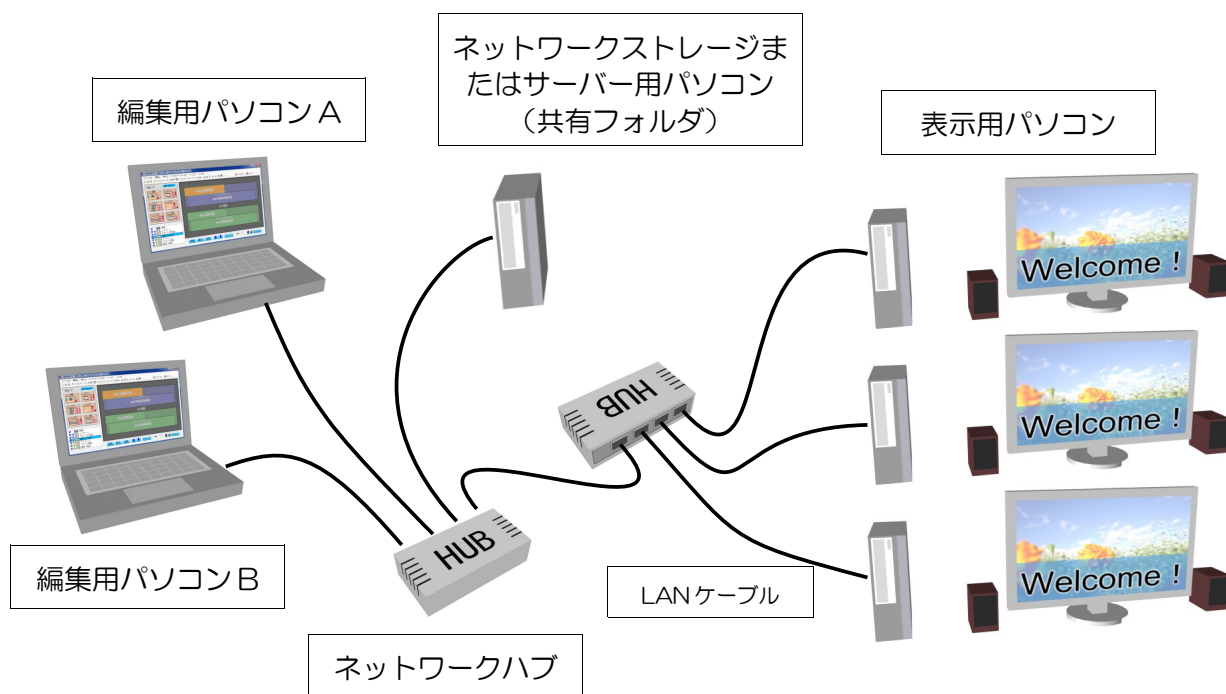
※同じデータファイルを複数の編集用パソコンから同時に編集することはできません。

※編集用パソコンと表示用パソコンがネットワーク上の共有フォルダの中身を読み込んだり書き込んだりできるような状態であることを確認してください。そうでない場合は、共有フォルダへの読み書き権限を設定する必要があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

※表示用パソコンでネットワーク上の共有フォルダ内のファイルを使用する場合、表示パソコンのWindows ログオンユーザー名で共有フォルダにアクセスする必要があります。その他のユーザー名で共有フォルダにアクセスした場合、ファイルを正しく読み込めない場合があります。そのような場合はネットワーク管理者へご相談ください。

●例：共有フォルダ内のデータファイルの編集・表示を行う場合

複数の編集用パソコンからネットワークストレージまたはサーバー内の共有フォルダに保存してあるデータファイルを編集したり、複数の表示用パソコンで表示する場合の接続例です。



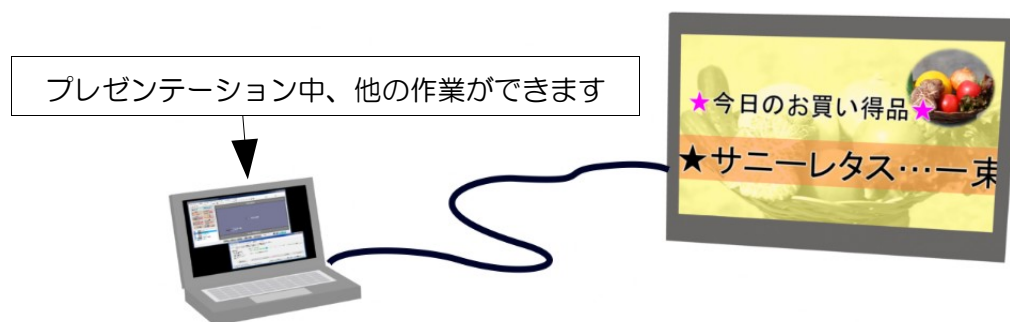
- ・表示用パソコンでは、パソコン起動時に自動的にプレゼンテーションを開始することができます。また、指定した時刻に自動的にパソコンをシャットダウンすることもできます。シャットダウンする時刻はデータファイルで指定するか、表示用パソコンで表示用パソコンごとに設定します。
- ・それぞれの表示用パソコンでは、表示用パソコンのキーボードの1～9キーを押すことにより、複数のプレゼンテーションを切り替えることができます。（あらかじめキーにプレゼンテーションを割り当てる必要があります）
- ・共有フォルダに保存されている、表示中のデータファイルを更新することにより、表示用パソコンの画面表示内容を随時更新することができます（ライト版では不可）。

マルチディスプレイ環境での運用を行う場合

Nomoad では複数のディスプレイを接続したパソコンにおいて、あるディスプレイにてプレゼンテーションを表示しつつ、他のディスプレイで別の作業を行うことができます。

（ライト版では利用できません。）

●例：プレゼンテーションを表示しつつ、他のディスプレイで別の作業を行う



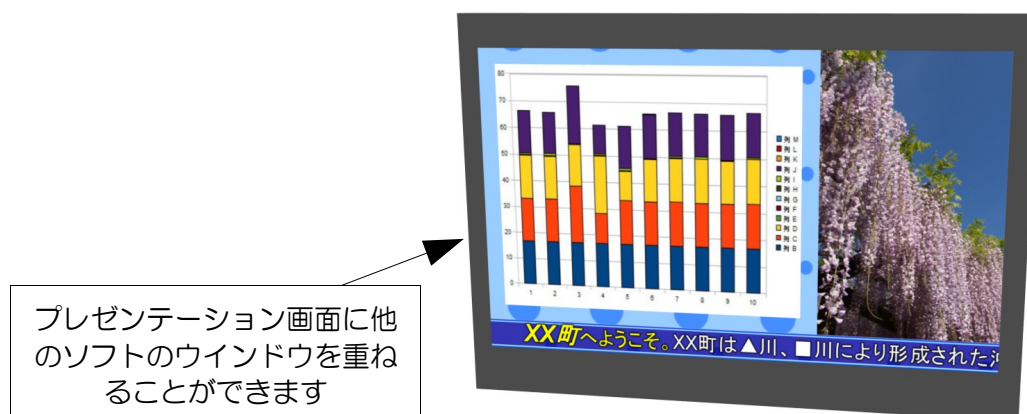
- ・ NomoadPR の「画面の設定」ウィンドウで、画面モードを「ウインドウモードで表示する」に設定する必要があります。
- ・ パフォーマンスが低下する場合があります。
- ・ プレゼンテーション中に同じパソコンでプレゼンテーションの更新作業を行うこともできます。

他のソフトウェア画面をプレゼンテーション画面に重ねて表示する

Nomoad ではNomoadPR のプレゼンテーション画面へ、他のソフトウェアのウィンドウを重ねて表示することができます。主にシステム組込み業者様向けの運用方法です。

（ライト版では利用できません。）

●例：プレゼンテーション画面へグラフ表示ソフトのウィンドウを重ねて表示する



- ・ NomoadPR の「画面の設定」ウィンドウで、画面モードを「ウインドウモードで表示する」に設定し、「最前面に表示しない」を選択する必要があります。
- ・ パフォーマンスが低下する場合があります。
- ・ プレゼンテーション画面に重ねるウィンドウの制御（ウィンドウの配置や終了など）は NomoadPR から行うことはできません。